

働き方改革に思う

樋口 出

安倍政権は、働き方改革をおこなえば、労働時間が少なくなるなどと、でたらめなデータを出し、バレーで撤回しました。裁量労働制とか、高度プロフェッショナル制度とか、何かカッコいいエリートの仕事方だと思ってる人も知れませんがとんでもありません。

裁量労働制には労働者の裁量などありません。使用者の裁量で決められるのですし、高プロ制度は残業代がゼロになるのです。定額使い放題（働かせ放題）なのです。年収1075万円以上の人が対象と言いますが、財界はそれを引き下げたことを狙っています。つまり、労働者のためでなく、財界の要求なのです。過労死が増えるだけなのです。



トヨタ自動車では、裁量労働制で働く人の8割が健康状態に懸念があると言われます。一日8時間働けば普通に暮らせる社会にすることこそが必要ではないでしょうか。

働き方改革と言うならば、低賃金、長時間労働を正すことこそが求められているのです。



花見鍋写真（1面のつづき） 初企画「野点（のだて）」

父の声がきこえる町ナガサキ

上原 順子

昭和二十年八月九日午

前十一時二分。父は何を

し、何を考えていたのだ

ろうか。生後七日目の私

を置いて、父がナガサキ

の軍需工場に徴用されて

から一年八カ月目、原子

爆弾が投下された。太か

爆弾がナガサキにも落ち

たげな、そんな噂を伝え

聞いた母は、やっと手に

入れた切符でナガサキ駅

に立ったという。雑踏の

中をひたすら祈りながら

現地に向かうと、見渡す

限りの焼野原であった。

乳が張るのを耐えながら、

原子野の焼跡に石ころを

積み、祖母が持たせた井

戸水を供えたと語る。

二度とナガサキの町に

立ちたくないと思つて

語る母の戦後を想い、鎮

魂の町三菱製鋼所跡を訪

ねた。千数百人の犠牲者

を出し、うじ虫がわいて

悪臭がするため、死体を積み重ねて焼いたという製鋼所前で私は素足になつた。父の骨がまだ埋まっているかも知れないと思つたからだ。

「よくきてくれたなあ」。父の声が聞こえたような気がした。父はここであつたという間もなく、熱線と爆風に吹き飛ばされたのだらうか。いや、しばらくは息があり、妻子や父母の名を呼んだのかも知れない。父の歩いた温もりが無性に恋しかつた。

道々、父の魂はどこにいらっしゃるのらうか、この地にとどまっているのなら父の魂をつれて戻りたいと思つた。

資料館では、原子爆弾の模型が黒光りし、頭上から冷やかに人間の愚かさを見下していた。私はそのフットボール型の模型を足蹴にしたかつた。平和公園に向かつて緩やかな勾配を下りながら、父のためにできることはないだらうかと考えた。

その後、縁あつて原爆朗読劇「この子たちの夏」に加わつた。原爆で死んでいった者たちの無念さ、被爆者の苦しみ、残された家族の叫びを伝えたいと思つた。

ナガサキから世界の平和を祈り続けるシンボル・祈念像に白百合の花束を捧げた。

やっとナガサキを訪ねたあの日から二十数年、原発事故がおき、憲法九条も危うくなつた。



歩いて健康長命 延ばします

深谷 孝夫

会社へ勤勉にご奉仕していた頃は、現場で何処を切っても金太郎飴のような品質の車づくりをしていて、神経や体力も細くなり、なかなか太らない体質を家内は気にして、「わたしが毎日栄養のある料理をつくってもあなたは、それに応えてくれない」と言って、わたしの六十キロそこそこの「針金からだ」を恨めしげに愚痴をこぼします。

それが定年になって、家に居る時間が増えてくるとお腹が始めできて、何をするにも腰が重い。家内から何か用事を頼まれても容易に腰が上げられないのです。それもそのはず、体重が現役時代の六十キロそこそこ吹けば飛ぶようなからだであったものが、七十五キロにも増えていたから。男なら貴様があつてたのもしいのではと自己満足して

新シリーズ 私の趣味

いると、それは生活習慣病の兆候だからと家内から脅される始末。しかしそれは単なる脅しではなく本当のことであったことが、定期健康診断の所見の総合判断で、医師からの指摘を受けて分かった事実であったのです。家内の慧眼に脱帽！わたしの周りでもよく知っている人達のそれが原因で糖尿病や脳梗塞や心筋梗塞などに罹っています。まだまだ遣りたいたいことに未練があるわたしは、「これは非常にヤバイ状態だ」と直感し、一念発起！死ぬより辛いこと、ビールの飲む量を減らして、なおかつ主食を食べる前に嫌いな野菜を意識して、多く食べるように食生活の改善を試みました。それと併用する形でウォーキングも取り入れてみたのです。



その努力の甲斐あつて、ここ数年現役時代の六十キロそこそこの体重に戻ったのです。まだまだやればできる余りの人生。歩いて歩いて健康長命のレールを延ばします。

白子地域住民こんだん会 2月24日(土)

初参加の人もなるほど納得

2月24日、白子地域住民こんだん会が行われました。懇談にはチラシを見てきたという人2名を含め11名が参加。

前半は「身近な話題や困りごと」がテーマ。橋詰さんが市議になって2年10ヶ月をふりかえり、議会質問で主に取り上げた「高齢者の生活交通」の問題などを紹介しました。参加者は「うちは土地が低いので水害が心配」「今は駅まで歩けるけど、そのうち困ることになりそう」「横断歩道の白線が消えていて危ない」「確定申告をどうしたらいいか」「親の介護で、これから大変」など、日頃思っていることをこもこも語りました。

後半は小池さんのDVDを使って「共産党に何でも聞いてみよう」のコーナー。まずは「共産党が政権とつたら自衛隊をどうする?」。今の中国や北朝鮮は日本に攻めてくるかも知れない。丸腰ではこまる。「何か事があつたとき、自衛隊は必要」「国を守ることで、どの党も同じはず」などの意見が出されました。「共産党は自衛隊は憲法違反と考えるが、連合

政権では自衛隊を違憲とはしない。大規模災害や急迫不正の侵略には自衛隊を活用する」との説明になるほど納得。



次に「北朝鮮の核開発をどうやってやめさせる?」。初参加者に北朝鮮に対するイメージを聞くと「日本人を拉致する卑怯な国」「自由がない、格差がある、難破船が漂着」「貧しいのにミサイルに金をかけている」「暗殺、粛正、怖い国」など予想以上に否定的イメージ。「こんな国と対話ができるのか」との心配も出されましたが、「北朝鮮と国交を結んでいる国は100カ国以上、普通に貿易をしている。国交がないのは日本、韓国、アメリカなど少数」との話も紹介されました。何でもアメリカのトランプ追従ではなく、日本が核兵器禁止条約の立場で北朝鮮と交渉に当たらなくては、との意見が出されました。

(吉田一男)



石田 秀三の

かけある記

公文書改ざんは、 民主主義の土台を崩す

国会で「公文書改ざん」が連日、大問題となっています。財務省・文部科学省・厚生労働省・防衛省のあちこちからゾロゾロと、「存在しない」「廃棄した」とされていた公文書が出てきた、また決裁された文書があとで書き換えられた、など信じられない事態が続いています。これはもう安倍政権の末期症状です。

鈴鹿市役所にも「文書管理規程」があって、あらゆる市行政の事務処理の経過は、ルールに従って記録保存されています。各課に「文書取扱主務者」が置かれ、全体を総務部総務課が集中管理しています。今では情

報公開制度があり、市民はだれでも公文書を見ることができ、市にとって都合の悪い文書であっても出さねばなりません。

私たちが議会で議論する時も、現在と過去の公文書をもとに議論します。かつては「入札談合」とか「政治資金不正」とか、「飲み食い行政」「不公正な同和行政」などもありましたが、それぞれ証拠となる公文書をもとに議論したのです。

一方、議員などが行政に働きかける「口きき」も公文書に記録されるので、ゴリ押しが出来にくくなっています。

しかしどんな案件でも、公文書の中身を「改ざん」したとか、あるのに「廃棄」したと言うようなことは、聞いたことがありません。「それをやっちゃあ、おしまい」、議論の前提が崩れてしまうからです。およそ民主主義を標榜する国では「あり得ない」ことを、平然とやって恥じない安倍政権。もう辞めてもらうしかありません。（鈴鹿市議会議員 石田秀三）



はしづめ圭一の

はじめの一步

工業高校・自動車部の仲良し3人組

高校時代、仲良し3人組がいましたが卒業後、仕事・結婚・引っ越しなどで連絡が取れなくなっていました。

それが2年前に私のブログやFacebookを見つけてくれて、43年ぶりに再会。そして3月末に、2年ぶり2度目の同窓会で、蒲郡の吉良観光ホテルで昔話に花を咲かせました。

いま思えば、大阪府立今宮工業高校・自動車部で過ごした3年間は密度の濃い高校生活でしたね。自動車部のガレージには古いダットサンが2台あって、それで校内を走って運転の練習をして自動車免許を取り、エンジンを分解したり組み立てたりしていました。

また、バイクで野山を走り、泉南の海で魚釣り、バイトで金を貯めて旅行も行きました。あの時、

ああした、こうしたとみんなよく覚えています。

行く途中、岡崎城に寄りました。桜満開です。2日目は、トヨタ博物



館とトヨタ産業技術記念館に寄りました。自動車の歴史と時代がよく解ります。案内ガイドも丁寧で、時間がいくらあっても足りません。

産業技術記念館の糸を紡ぎ布を織る作業は、紀元前からいまも基本作業は変わらない、その工程をいかに早く、省力化するかという工夫が技術の進歩となったという説明に納得し、綿のかたまりから綿を細くするだけでは指でつまむだけで簡単に切れるが、数回ねじる（よりをかける）だけで力を入れて引っ張っても切れない糸になる、という実演には感心しました。

天気も良く、40数年前にタイムスリップした2日間でした。また2年後の再会を約束し、帰路につきました。（鈴鹿市議会議員 橋詰圭一）



森川ヤスエの

こころに夢を

日本共産党という政党に入った私

私は瀬長カメジローさんにあこがれて、共産党を見た。労働学校で科学的社会主義の理論を学んだとき、故郷の置かれている現状の原因に気が付いたように思った。政治が変われば貧困もそして争いもなくせるのだと。それでも25歳まで党に入れなかった。

社会活動は頑張れば頑張るほどお金がかかるのは今も当時も変わらない。学習や活動に日常生活には必要ない交通費や飲食代、学習費用などが掛かることを労働学校で体験したから。私は故郷にいる家族に仕送りをする身、自身も夜間大学か通信大学で学びたい。薄給の私には1000円もとても貴重だった。学習旅行の費用をためるのに昼ご飯を節約した。そんな暮らしがきつと自ら旅にはいかない、行かなければならないから行くという今の私の暮らしなんだと思う。未来をともに同じ目線で見たいと思った時、先に黨員だった夫に喜んでもらいたくて、党に入った。

一日も早く、貧しさに苦しむ人がいなくなる政治を築きたいとの思いを心に秘めての共産黨員。貧しさに苦しむ人が無くなる社会を願って、今の社会の中で誰かの役に立ちたい、その思いが私に議員をさせた。

政治が変われば貧困をなくせる、そのことに一人でも気付いていただきたくて私はチラシを配る。

その思いが議員のニュースを股関節を痛めた今でも1500枚ほど配り続ける力になっている。思いの強さは痛み止めの役割もしている？

(鈴鹿市議会議員 森川ヤスエ)



瀬長亀次郎 1907～2001

沖縄人民党委員長 日本共産党副委員長

玉垣地域のつどい 3月24日(土)

集まれば元気、あつという間の2時間

玉垣地域の共産党後援会は3月24日に市政懇談会を開き、10名の方に参加していただきました。いろいろな話題に花が咲きました。あつという間の2時間でした。はじめに、森川ヤスエ市議から鈴鹿市政の現状と課題について話がありました。おもな中身として、市内の一部の大企業がリーマンショック以降、法人市民税をほとんど払っていないので税収が以前の60億円から20億円に減収になってしまっている。鈴鹿市独自の市民サービスをやるうとする(たとえば医療費の窓口無料化を上げる等)国からペナルティとして交付金が削減される。安倍政権のゆがんだ政治が地方にも及んでいる。水道料金が値上げされることになったが数年後には運営資金が今より約30億円も上積みになる(目標は15億円)。介護保険料もそうだが、必要以上の値上げがおこなわれ市民の暮らしを圧迫している等々。

みなさんからのご意見の中で、障がい者医療費は窓口ですすんでいられるのか。等々の切実な声がよせられました。

このあと共産党の小池さんが語るDVDを見て、感想を出し合いました。そのなかで、政府が放送法の「政治的公平」の撤廃を検討しているという話題が出され、自由と民主主義をまもることがますます大事になってくると話し合いました。

最後に森川市議から参加者に日本共産党への入党の訴えがあり、ともにがんばりましょうとよびかけました。

(谷口 茂)



私のおすすめ 簡単レシピ

-ヒジキと牛こま肉の甘辛煮-

磯山 真柄真知子さん



材料

- ・牛こま肉 ... 100g
- ・にんじん ... 3cm (細切り)
- ・生ヒジキ ... 150g
(乾燥ヒジキ... 20g)
(さっと洗って水切り)
- ・小ネギ ... 1本 (小口切り)

A さとう 大1
みりん 大2
酒 大2

- ・しょうゆ 大2
- ・白だし 小1
- ・サラダ油 大1

作り方

鍋に油を熱して、にんじんを炒め、しんなりしたら、ヒジキを加え、さらに炒める。

油が回ったら、牛肉を加えてさっと炒め、Aを加え、ひと煮立ちする。

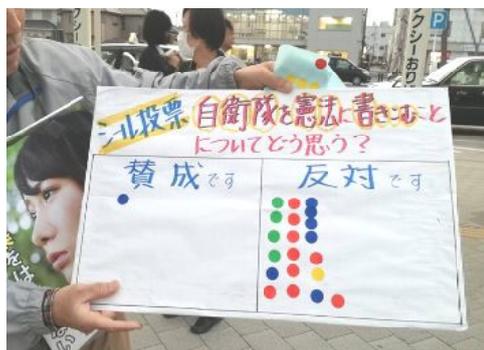
しょうゆを加えて、弱火で5分ほど煮ふくめてから、小ネギをちらす。

食生活の脇役！！食卓にありがたい一品です。

身近な「ヒジキ」はカルシウム、食物繊維等が豊富で、健康な身体を維持するために必要な食品です。

絵手紙

藤本明子さん



その後毎日報隠しながら次々と暴露され、安倍内閣はぐらついています。手をゆるめることなく、今こそ巨悪を追いつめましょう。3000万人署名はその大きな武器となります。(よ)

「秘密法と共謀罪に反対する鈴鹿市民の会」が4月6日、白子駅前で行った署名活動を行いました。「自衛隊を憲法に書き込むことに、賛成？反対？」というシール投票【写真】に若者が足を止めました。4人連れの高校生は賛成に1人、反対に3人。それぞれが自分の意見を持っている。すばらしい。結局この日は賛成3、反対24。賛否五分五分かな？との事前の予想は大きくはずれました。公文書改ざんなど政権への不信が高まっており、「安倍さんのやることは信用できない」との思いが影響しているように思いました。

編集後記